

英語科学習指導案

日時	平成23年11月11日(金)	1校時
会場	1年4組教室(南校舎4階)	
生徒	1年4組(男子15名 女子20名 計35名)	
授業者	古舘 教之	

1 単元名 Unit 8 はじめてのカナダ旅行 (NEW HORIZON English Course Book1 東京書籍)

2 単元について

(1) 学習者観

- ・帯活動として対話チャンツや Q&A を継続して行ってきた。その結果、積極的に英語を使おうとする態度が見られるようになってきた。
- ・「聞く」「話す」活動に関して、「自分の宝物を紹介する」「自己紹介をする」など、身近な場面での学習を経験してきた。本単元は、多くの生徒にとって経験のない海外旅行が話題となるため、空港内や飛行機内での対話場面を想定させながら学習を進めることになる。
- ・「読む」活動に関しては、ある程度まとまりのある英文から大切な情報を読み取る活動を行ってきた。そのため、英文を読むことにさほど抵抗を感じなくなっている。
- ・「書く」活動に関しては、集中して2分間で視写(筆写)する活動を行ってきた結果、英文や符号を正しく速く書く力がややついてきている。また、自己表現をさせる機会を設定し、他の人に情報を伝える等の発信活動に取り組んできたので、英文を書いてみようとする態度が育ってきた。今後、既習の知識と新たな知識を結び付けて英語を使いこなす力をさらに高めていきたい。

(2) 学習材観

- ・本単元は、Mike, Judy, Shin, Emi の4人がカナダで冬休みを過ごすことになり、日本を発ち、カナダの空港に降り立つまでを扱う。生徒にとっては非日常的な場面であるため、この機会に旅券や搭乗券などの実物を使って海外旅行への興味関心を高めることのできる単元である。
- ・本単元では、基本文の文法事項を効果的に提示できる場面設定となっており、Where is ...? という疑問文とその応答、所有格の whose を用いた疑問文とその応答、人称代名詞 he と she の目的格と、いずれも本文に繰り返し現れるようになっている。また、in/on/under/next などの前置詞の使い方を覚えさせるのには適した場面構成となっている。

(3) 学習指導観

- ・既習の who, what と本単元で学習する where, whose などの疑問詞を使った疑問文や Does ~? の疑問文を用いて、自分の知りたい情報を尋ねるような言語活動を行いたい。
- ・Unit8 で目的格と所有代名詞を扱ったことにより、人称代名詞の格変化が出そうなので、この機会に整理するとともに、まだ本文に出ていない語(hers, their など)もまとめて提示していきたい。言語活動を通して、それらを使わせる場面をできるだけ多くし、繰り返し指導していきたい。
- ・言語使用場面を意識させながら、人称代名詞を効果的に用い、知り得た情報を基にある人物を相手に伝えるような言語活動を仕組んでいきたい。

(4) 研究との関わり

- ・「帯活動」のチャンツと Q&A では、既習や未習の知識を含め多くの英語の表現に触れさせ、スパイラルな学びを目指している。その中にペアやグループでの活動を用い、学び合いを取り入れる。
- ・新出語句や文型のインプットや英文の内容を読み取っていく活動を「共有の課題」と捉える。コの字形から4人グループの小集団の隊形を作り、「協同的な学びの場」を取り入れていく。
- ・人物に関する情報を得てその人を紹介する文を考えていく言語活動を「ジャンプの課題」としたい。その人物に関して英語で伝える場面を「共有と表現」の場と捉え、それらの活動場面を設定する。

3 単元の目標と評価規準

観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化について知識・理解
目 標	・言語活動をする際に、ペアやグループでの活動に積極的に取り組もうとする。	・Where, Whoseで始まる疑問文を用いて、尋ねたり答えたりできる。 ・人称代名詞を用い、有名人を紹介する文を書きくことができる。	・海外旅行に出発するまでのMikeたち4人の対話から、大切な情報を読み取ることができる。 ・Where, Whoseで始まる疑問文を含んだ対話の内容を聞き取ったり、読み取ったりできる。	・Where, Whoseで始まる疑問文の構造を理解する(be動詞, do動詞の使い方) ・所有代名詞(mine/yoursなど)や人称代名詞の目的格(him, herなど)を認識する。
評価規準	・ペアの対話練習やグループでの活動に積極的に取り組もうとしている。 ・間違いを恐れずに英語を話そう、書こうとしている。	・Where, Whoseで始まる疑問文を用いて、尋ねたり、答えたりしている。 ・文章の構成に気をつけて、5文以上で人物を紹介する文を書いている。	・海外旅行に出発するまでのMikeたち4人の対話から、大切な情報を読み取り、説明している。 ・Where, Whoseで始まる疑問文を含んだ対話の内容を聞き取ったり、読み取ったりしている。	・Where, Whoseで始まる疑問文の構造を理解する(be動詞, do動詞の使い方) ・人称代名詞の目的格(him, her)を認識し、表現している。

4 学習指導計画 (全 11 時間 本時 6/11)

- (1) Part① ものをさがそう 2時間
- ・本単元で身に付ける技能や覚える言語材料の紹介と確認 / Where ...?を用いた文の理解と習熟, 対話文の読み取り 1
 - ・Where is(are)~?とその応答を用いた言語活動 1
- (2) Part② だれのもの? 2時間
- ・Whoseを用いた疑問文(Whose bag is this?)や人称代名詞の所有格を用いた文(They're yours.)の理解と習熟, 対話文の読み取り 1
 - ・Whoseを用いた疑問文や所有代名詞を用いた文を取り入れた言語活動 1
- (3) Part③ あの人知ってる? 3時間
- ・人称代名詞の目的格(him, her)を用いた文の理解と習熟, 対話文の読み取りと言語活動 1
 - ・人称代名詞の目的格(him, her)を用いた言語活動 1 (本時)
 - ・人を紹介する文を考え伝え合う言語活動 1
- (4)まとめと復習 1時間
- ・人称代名詞の理解と整理 1
- (5) Listening Plus 3 2時間
- ・海外旅行での空港や機内での対話を聞いて内容を理解する 1
 - ・外国の通貨(米国ドル)等の海外に関する情報について知る 1
- (6)単元のまとめ 1時間
- ・文法のまとめ, SEカードの記入 1

5 本時の指導（6/11）

（1）目標

- ① 有名人についての英文を読んで内容を読み取ることができる。
- ② 英語を用いて得た情報をもとに、有名人を紹介する英文を書くことができる。

（2）展開

学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
【既習の学習】 <ul style="list-style-type: none"> 英文の構造「主語＋動詞＋その他の語句」や英文のきまりについて学習している。 be 動詞の文と一般動詞を使った文の形や意味・用法を習得している。 三人称を主語にした場合の動詞の変化（三人称単数現在形の s, es）を学習している。 人称代名詞の主格、所有格、目的格を学習している。 			
Greeting	・英語で挨拶をする。		
1 Warm Up	・英語のチャンツをペアで行う。 ・カードを使って Q&A を行う。	・【協同】英語のリズムや発音をまねて言わせる。 ・時間内にたくさんの英語を言わせる。	・[関・意・態]ペアやグループの活動に意欲的に参加しているか。(観察)
2 Review	・前時の復習	・教科書の登場人物に関する情報を思い出させる。	
≪共有の課題≫ 有名人についての英文を読んでどういう人なのかを読み取ろう。			
3 共有の課題の把握と追究	・有名人についての英文を読み必要な情報を読み取る。	・【活動】【協同】グループ内での教え合いを支援していく。	・[理解]英文の内容を正しく理解しているか。(ワークシート)
≪ジャンプの課題≫ 英語を用いて得た情報をもとに、有名人を紹介する英文を書こう。			
4 ジャンプの課題の把握と追究	・読み取った情報について尋ね合う。 新情報を入れて表を完成する	・【協同】・お互いに読み取った内容を英語で尋ね合い、情報を整理させる。	・[表現]読み取った情報を伝え合おうとしていたか。(ワークシート)
5 ジャンプの課題の解決	・知り得た情報をもとに、誰を紹介するかを決め、紹介文を作成する。 ・作成した紹介文を英語で伝え合う。	・【活動】【協同】表に書かれた情報をもとに、英文を考えさせる。その際に自分が知っている情報を入れてもよい。 ・【表現】【共有】他の発表を聞き、内容を推測する。	・[表現]知り得た情報をもとに、紹介文を書いているか。(ワークシート)
6 学習の振り返り	・今日の学習で学んだことを振り返る。	・自己評価させる。	
Greeting	・英語で挨拶をする。		
【次時や別単元での学習】 <ul style="list-style-type: none"> 自分が紹介したい有名人の紹介文を考え、伝え合う。 			